

ディーラーマニュアル

CI-DECK

サイクルコンピューター

SC-TX35

アナログコンパス

SM-TX37

ブラケット

SM-TX35

SM-TX35-A

SM-TX20

SM-TX20-A

カウリング

SM-TX36

SM-TX21

ギアポジションインジケーター

ID-TX50

ID-TX51

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業せず、購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書もあわせてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造は行わないでください。
- 全ての取扱説明書、ディーラーマニュアルはウェブサイト (<http://si.shimano.com>) でご覧いただけます。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。

安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

「死亡や重傷を負う恐れが大きい内容」です。

警告

「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。

注意


「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

安全のために

保護者への警告

- お子様の安全のため、本製品はディーラーマニュアルの記載に従って正しくお使いください。保護者、お子様ともディーラーマニュアルの内容を十分に理解してください。ディーラーマニュアルに従わないと、重傷を負うことがあります。

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書などに示している指示を守ってください。
その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトやナットなどが緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
また、調整が正しくない場合、不具合が発生し、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、安全メガネまたはゴーグルを着用し、眼を保護してください。
- ディーラーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 使用済みの電池は子供の手の届かないようにし、法令に定められた方法で処理してください。誤って飲み込んだ場合はただちに医師の手当てを受けてください。

< SM-TX37 >

- アナログコンパスは、自転車に取付けた状態ではコンパスがブレーキケーブルなどの金属に反応して、正しい方角を示さない場合があります。方角を確認する場合は、自転車を停止してからコンパスを自転車から取外して行ってください。走行中に行くと片手走行で車体が不安定になり転倒の恐れがあります。

< SC-TX35 >

- 走行中はサイクルコンピューターの数値表示に目を奪われないでください。また走行中に表示切替えをしないでください。転倒事故などの恐れがあります。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- レバー操作時には必ずクランクを回しながら操作を行ってください。
- 部品のケーシングを溶かす恐れがあるため、サイクルコンピューターやスピードセンサーなどの部品を洗浄するために、シンナーまたは他の溶剤を使用しないでください。
- 部品を洗浄する際は、水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いてください。

< SC-TX35 >

- スピードセンサーから120秒間信号を受信しないと、省電力機能が作動して、液晶画面の電源が切れます。
- 再組立できないため、サイクルコンピューターは決して分解しないでください。
- 雨天走行に耐えるように、サイクルコンピューターは完全防水加工されていますが、故意に水の中に入れてください。
- サイクルコンピューターをできるだけ炎天下に放置したままにすることを避けてください。また高温、および直射日光に長時間放置すると液晶画面が黒ずんできます。その場合は日陰などに入れて冷ましてください。正常に戻ります。
- サイクルコンピューターの作動温度範囲は-10℃から50℃です。範囲を超えるとデータ表示の動きが鈍くなる、もしくは表示されなくなります。
- サイクルコンピューターを注意深く取扱い、衝撃を受けないようにしてください。
- 製品購入時に同梱されている電池はモニター用ですので、電池の寿命が短い場合があります。
- (+) 側が見えるように電池を挿入してください。電池が逆に挿入されると、初期設定データが消去されます。

< SM-TX37 >

- アナログコンパスは、使用場所によっては自転車から取外しても、周囲からの磁力の影響で正しい方角を示さないことがあります。コンパスの示す方角は目安としてお使いください。
- アナログコンパスが破損、又は液漏れが発生した場合はただちに使用をやめてください。
- アナログコンパスは周囲に鉄や磁気を発生するものが無い場所でお使いください。
- このアナログコンパスは簡易的方位を示す玩具の範疇にあります。登山などシリアスな状況では使わないでください。
- アナログコンパスは-20℃以下、50℃以上になる場所には放置しないでください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項

< ID-TX50 / 51 >

- 円滑な操作のため、OT-SISケーブル、ケーブルガイドをご使用ください。
- アウターケーシングはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。
また、ハンドルを一杯に操舵した時にシフティングレバーがフレームに接触しないことをあわせて確認してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが動きにくいいため、ご使用できません。
- インナーケーブルとアウターケーシングの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 変速調整ができない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄およびグリスアップとアウターケーシングが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

取付け

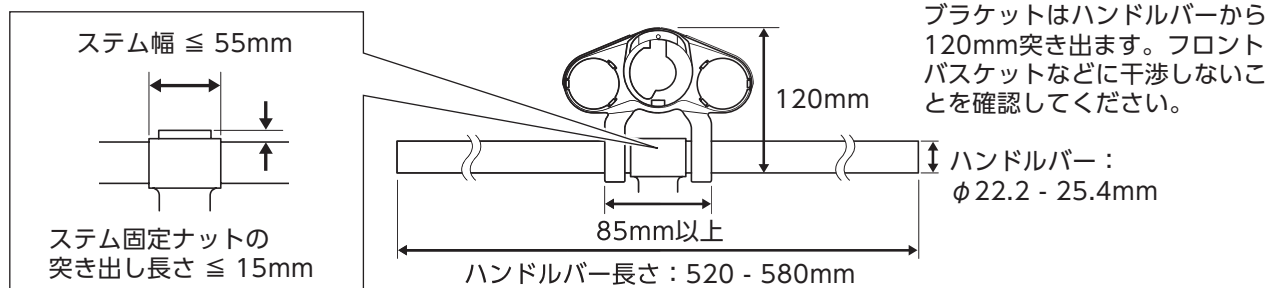
使用工具一覧

製品の組立には下記の工具が必要です。

使用箇所	工具
クランプバンド	プラスドライバー #2
サイクルコンピューター	プラスドライバー #2
カウリング	プラスドライバー #2
カバー取付けネジ	プラスドライバー #1

■ 推奨ハンドルバーおよびステム寸法

ハンドルバーには85mm以上の直線部分が必要です。



■ ブラケットの取付け (3穴仕様の場合)

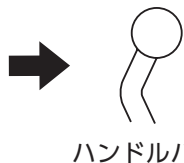
1. ブラケット (SM-TX35 / SM-TX35-A) の取付け

ハンドル径に応じて、樹脂アダプターをクランプバンドとハンドルバーの間に入れてください。

<SM-TX35>

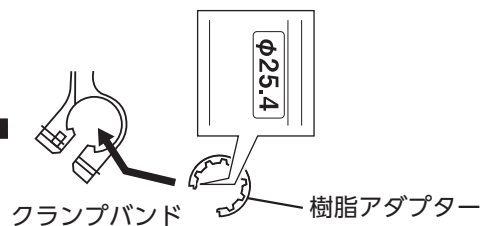
ハンドルバー径：
22.2mmの場合

樹脂アダプター

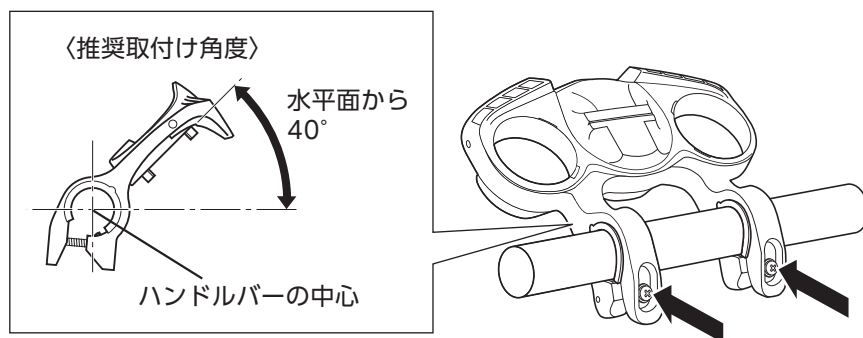


<SM-TX35-A>

ハンドルバー径：
22.2 / 25.4mmの場合



ブラケットのクランプバンド部分を広げハンドルバーに取付けた上で仮止めしてください。



2. サイクルコンピューター (SC-TX35) の取付け

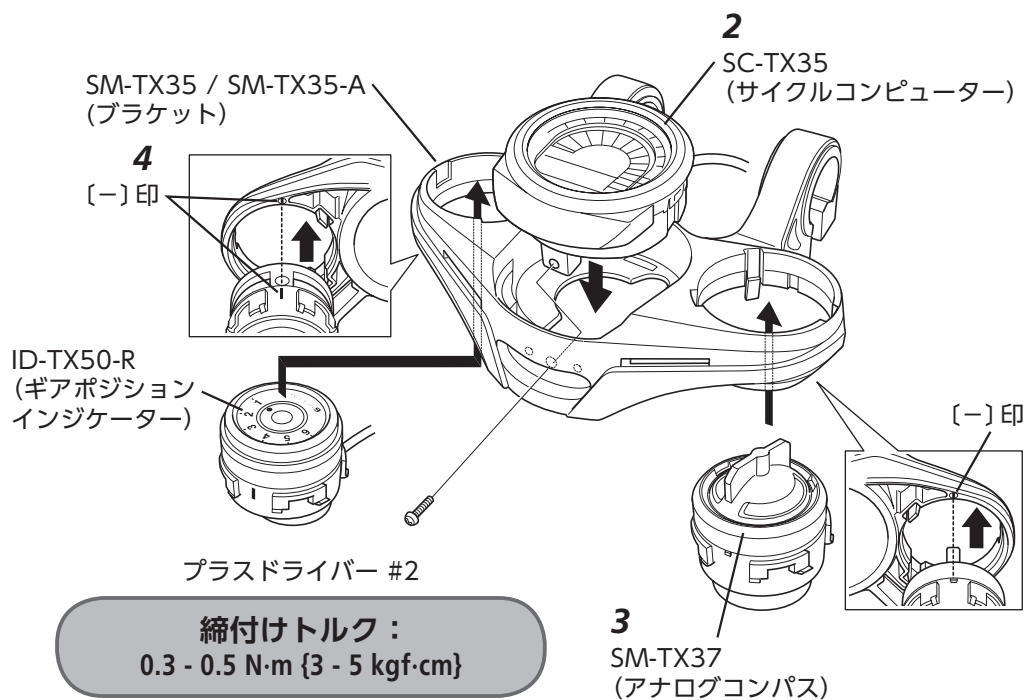
ハンドルバーに取付けたブラケットのカバーを取外しオモテ面からセットし固定ネジで締付けます。

3. アナログコンパス (SM-TX37) の取付け

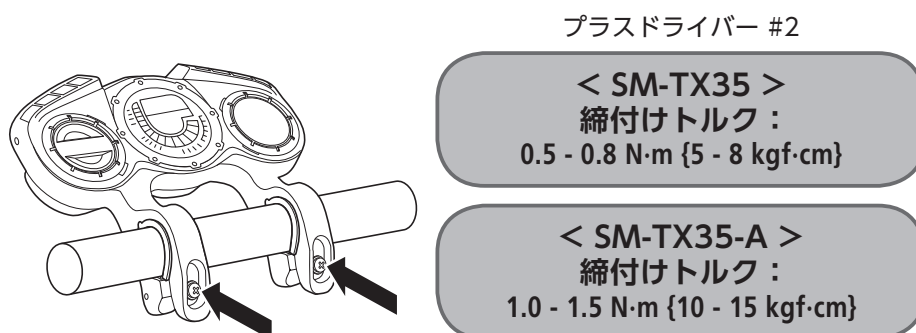
ブラケットの〔-〕印にアナログコンパスの突出部を合わせてウラ面から押込むようにして取付けてください。

4. ギアポジションインジケーター (ID-TX50-R) の取付け

ブラケットの〔-〕印にギアポジションインジケーターの〔-〕印を合わせてウラ面から押込むようにして取付けてください。

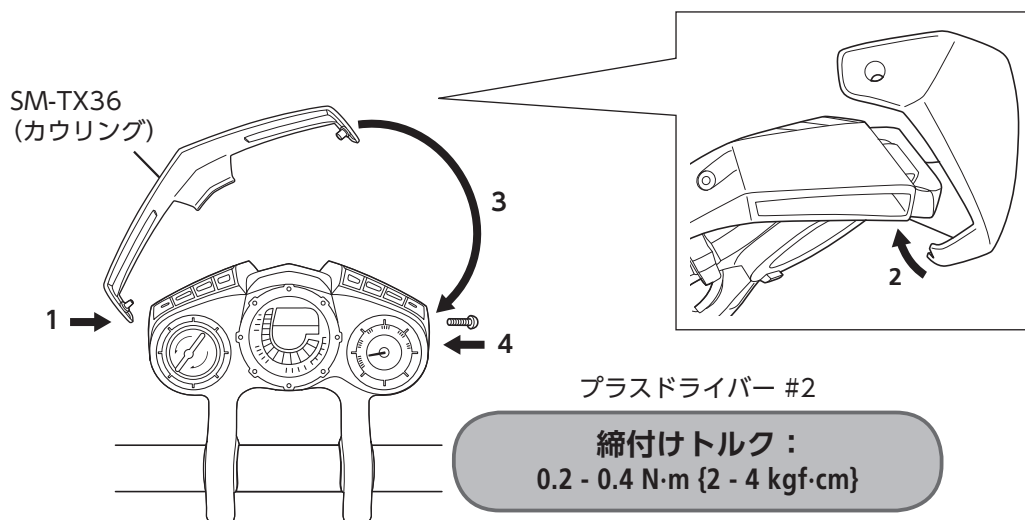


5. 自転車にまたがりCI-DECKが見やすい位置に調整し締付けてください。



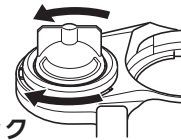
6. カウリング (SM-TX36) の取付け

図の手順で取付け、ネジで固定します。

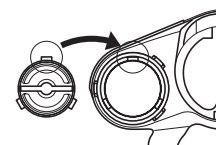


方角を確認する場合はアナログコンパスは反時計方向に回転させてロック解除しブラケットから取出します。
確認後はアナログコンパスの凸部をブラケットの凹部に合わせてアナログコンパスを時計方向に回転させてブラケットにロックします。

ロック解除



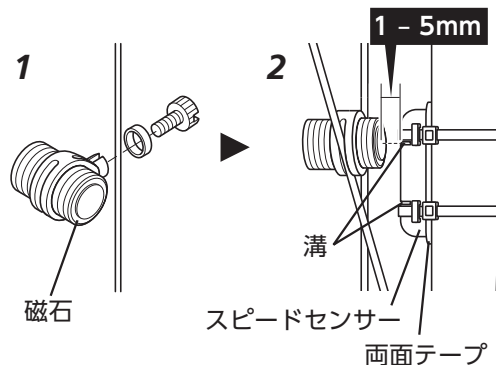
ロック



■ サイクルコンピューター

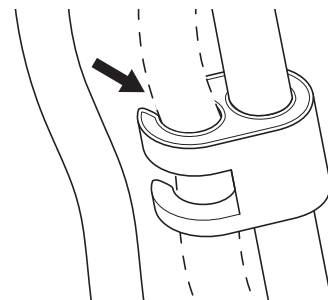
スピードセンサーと磁石の取付け

1. 前輪の左側のスポークの交点部分に磁石ホルダーの溝を引っ掛けて仮固定してください。
2. フロントフォークに両面テープと結束バンドで仮固定しスピードセンサーにある2本の溝のどちらかの上に磁石を置き、スピードセンサーと磁石の距離が1～5mmになるように調整しスピードセンサーと磁石を固定してください。

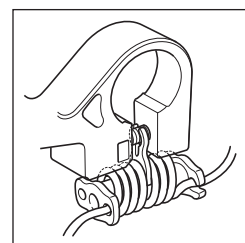


スピードセンサーコードの固定

1. EZケーブルクランプを使用して固定します。
2. 余分なコードはケーブル長さアジャスターで調整してブラケットのクランプバンドのネジ部に固定します。



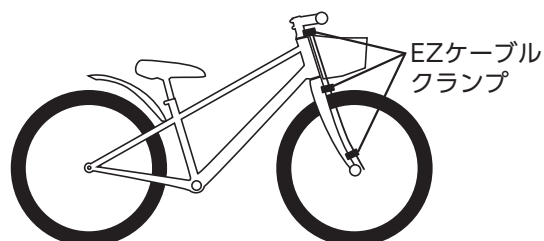
EZケーブルクランプA：ケーブル外径5mm用



ケーブル長さアジャスター

注意：

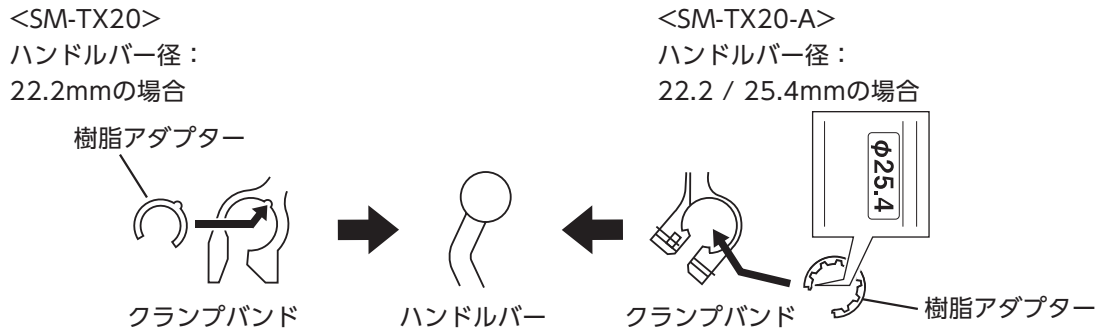
コードはフレームからとび出ないようにしっかりと固定してください。特にクランク周辺はご注意ください。
フロントサスペンションの場合、サスペンションストローク量を考慮してケーブル長さを調節してください。
ボトムブラケット周辺の配線は上側を通してください。



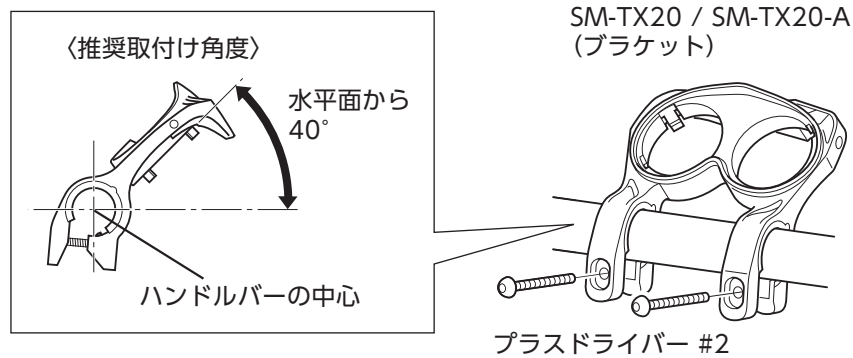
■ ブラケットの取付け（2穴仕様の場合）

1. ブラケット (SM-TX20 / SM-TX20-A) の取付け

ハンドル径に応じて、樹脂アダプターをクランプバンドとハンドルバーの間に入れてください。

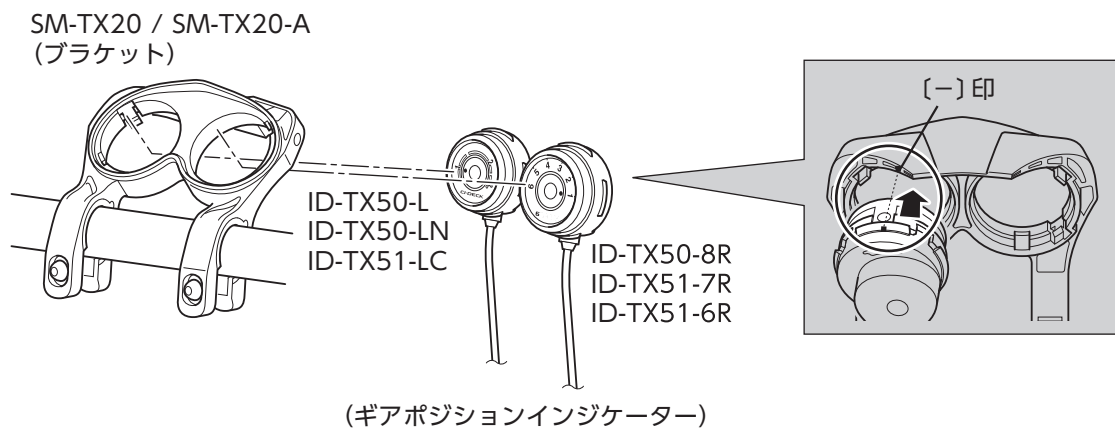


ブラケットのクランプバンド部分を広げハンドルバーに取付けた上で仮止めしてください。

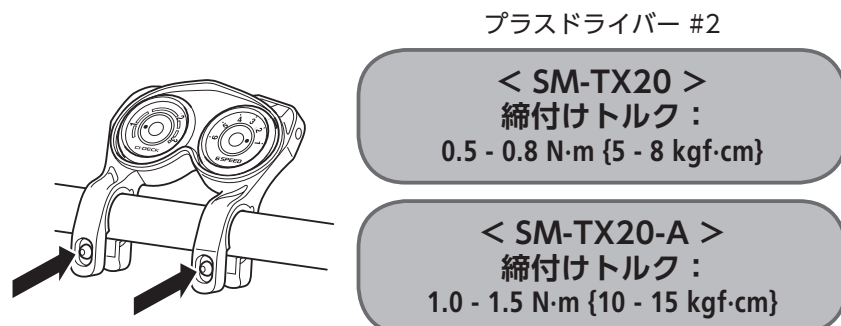


2. ギアポジションインジケーター (ID-TX50 / ID-TX51) の取付け

ハンドルバーに取付けたブラケットの〔-〕印にギアポジションインジケーターの〔-〕印を合わせて裏面から押込むようにして取付けてください。

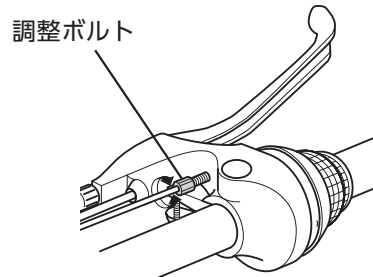


3. 自転車にまたがりCI-DECKが見やすい位置に調整し締付けてください。



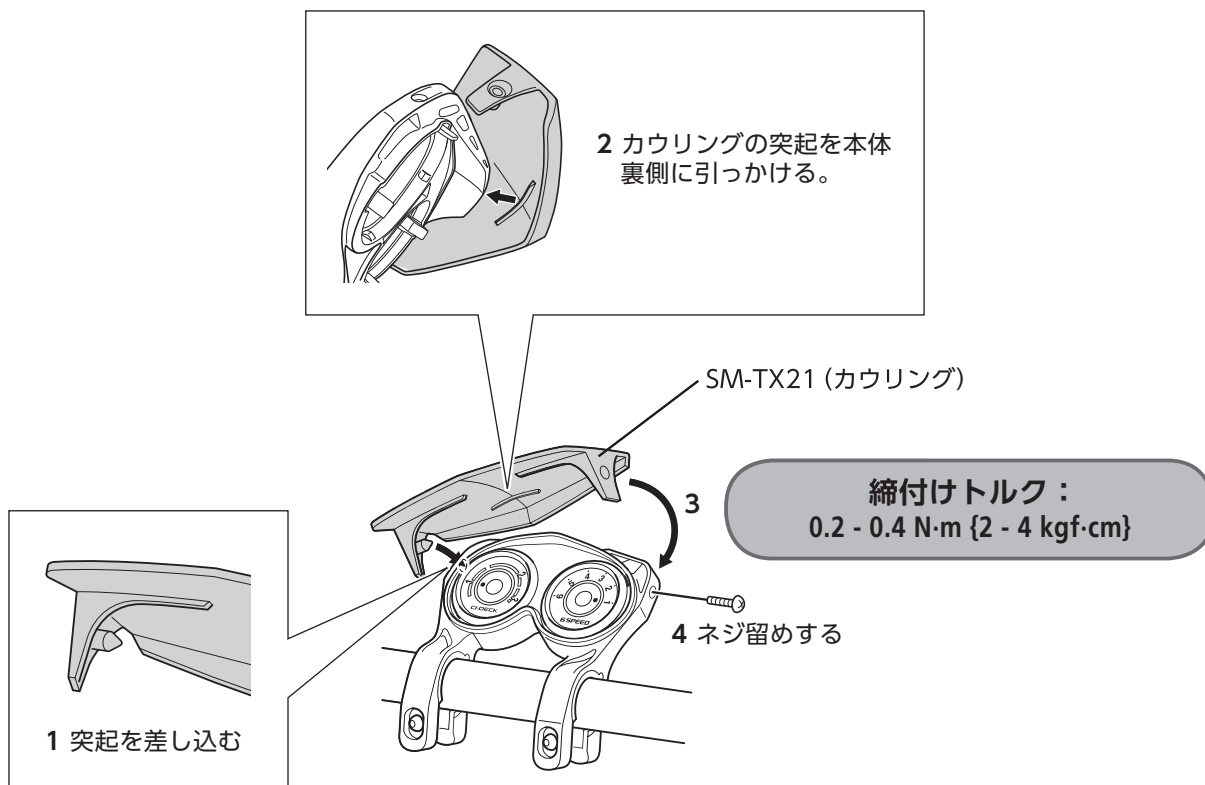
4. シフターを操作し、インジケータと数字が合っているかのチェックを行ってください。

- もし合わない場合には、シフターに付いているCI-DECKインジケータケーブルの調整ボルトを回して調整してください。



5. カウリング (SM-TX21) の取付け

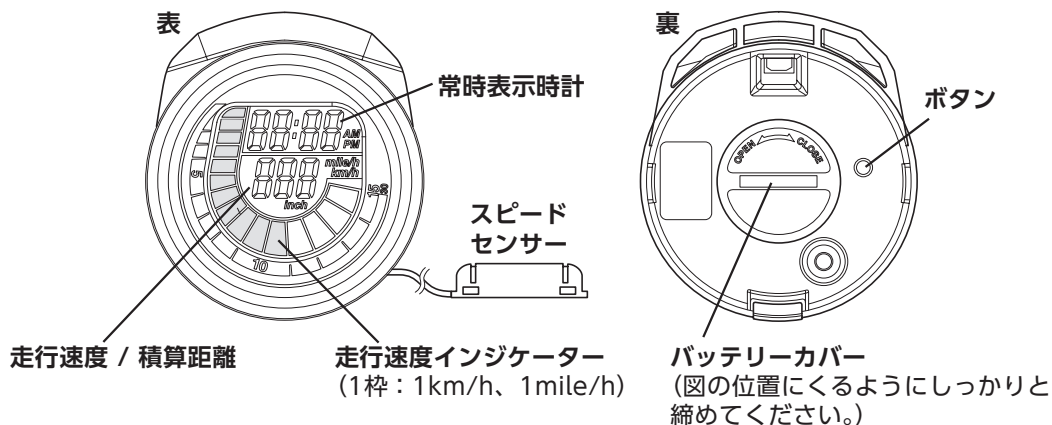
1~4の手順でカウリングを取付けてください。



調整

■ 各種設定 (サイクルコンピューター)

各部の名称



モード切替え

本体裏のボタンを押すことで、走行速度 / 積算距離の切替えを行います。

初期設定

表示切替は裏のボタンで行います。点滅の状態で5秒間放置すれば設定が決定され、次の項目へ移ります。

1. タイヤのサイズを確認します。

2. 電池 (CR2032) を入れます。

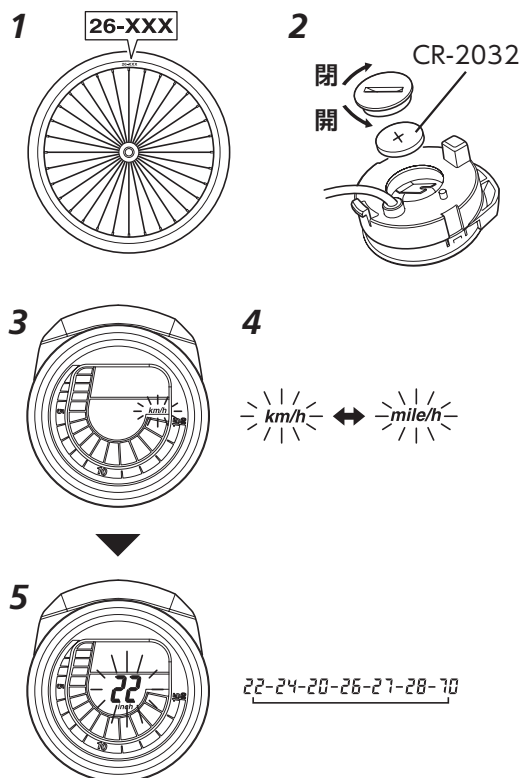
3. “km/h” が点滅します。

4. マイル表示の場合はボタンを押して表示を切替えます。

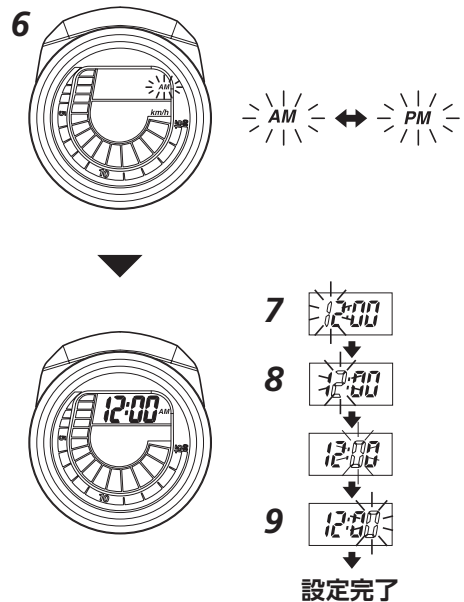
注意：

SC-TX35は、km表示またはマイル表示で使用できます。km表示のスピードメーターを使用する場合は、キロメートルの条件で設定を行う必要があり、マイル表示のスピードメーターを使用する場合は、マイルの条件で設定を行う必要があります。誤った単位が使用されると、表示される数値は正確ではなくなります。

5. 数字が点滅します。(最初に22inchが点滅し表示されます。) 使用されているタイヤのサイズを表示するには、ボタンを数回押して表示を変更します。



6. “AM” が点滅します。
“PM” 表示にするには、ボタンをもう一度押して表示を変更します。
7. 数字が点滅します。
1番目の時計の数字(時間)を表示するには、ボタンを数回押し表示を変更します。
8. 2番目と3番目の時計の数字を表示するには、ステップ7を繰り返します。
9. 数字が点滅します。
最後の時計の数字(分)を表示するには、ボタンを数回押し表示を変更します。
10. 5秒間ボタンを押し続けるか1分間放置すると時間が決定され設定が完了します。

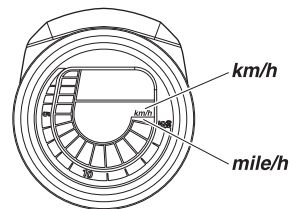
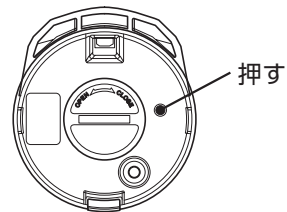


設定の変更

設定を変更するには、ボタンを1回押して、サイクルコンピューターを起動させます。次に電池を取外して30秒待ちます。その後、初期設定手順に従います。

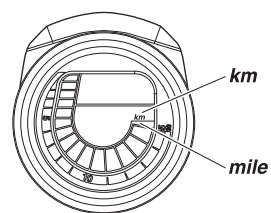
〈時計設定の変更〉

設定を変更するには、ボタンを1回押して、サイクルコンピューターを起動させます。サイクルコンピューターを「速度“km/h”または“mile/h”」モードに切替えます。少なくとも5秒間ボタンを押したままにして、その後初期設定入力手順に従ってください。



〈タイヤサイズ設定の変更〉

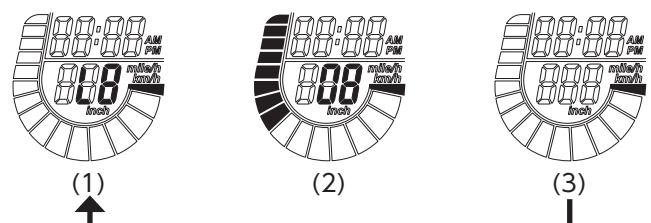
設定を変更するには、ボタンを1回押して、サイクルコンピューターを起動させます。サイクルコンピューターを「積算距離“km”または“mile”」モードに切替えます。少なくとも5秒間ボタンを押したままにして、その後初期設定入力手順に従います。



〈電池残量の表示について〉

電池の残量が少なくなると、次のような表示があらわれますので、早めに電池交換を行ってください。

- (1) “LB” が表示され20回点滅します。
- (2) 通常モードに戻ります。
- (3) スリープモードに入ると表示が消えます。

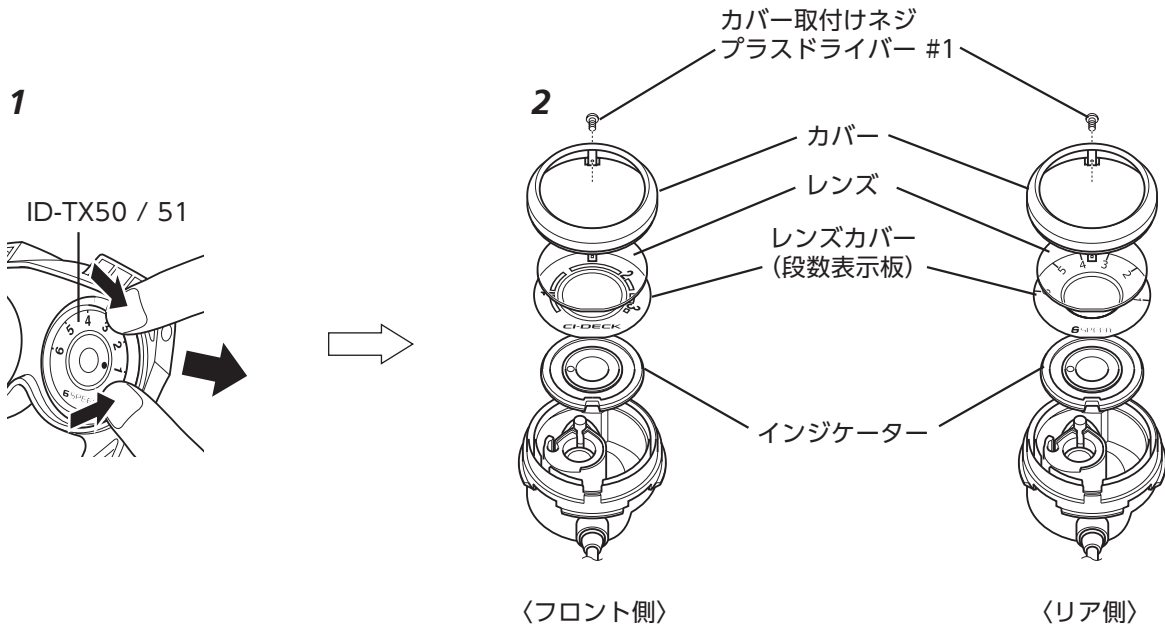


メンテナンス

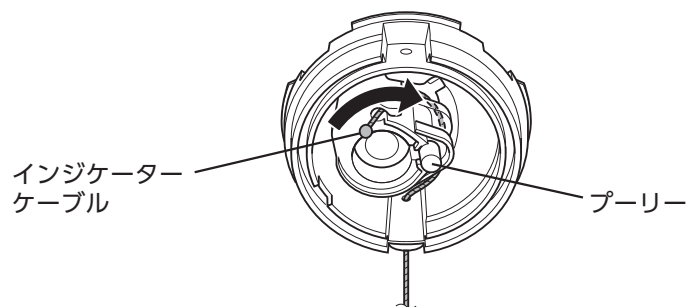
■ ギアポジションインジケータのインナーケーブル交換方法

CI-DECK側

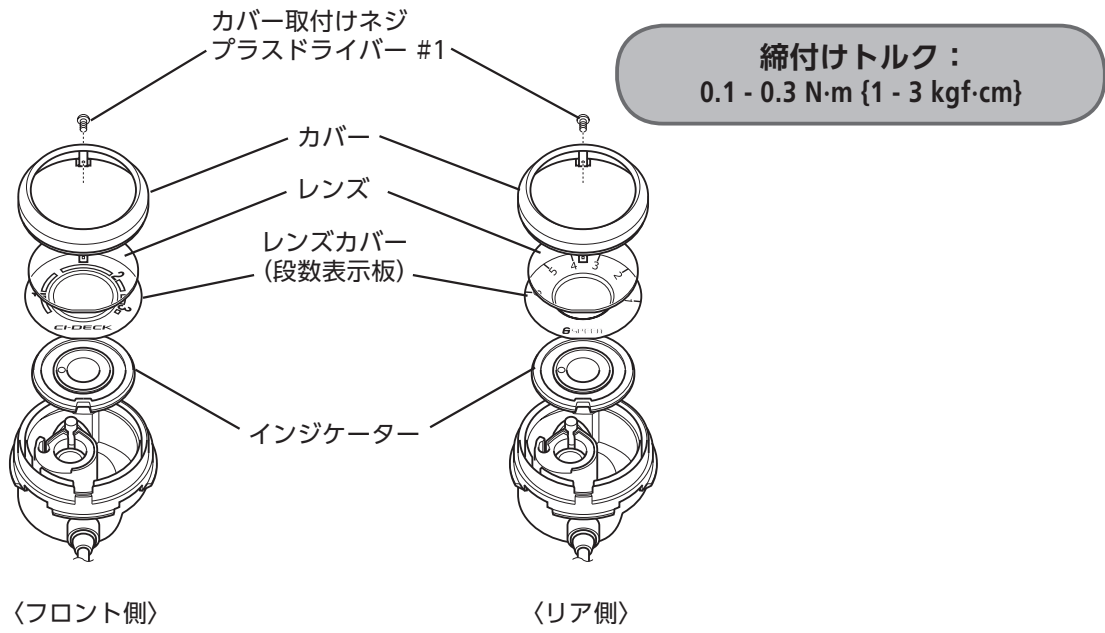
1. 表面から図の箇所を両手の親指で押してID-TX50 / 51 を取外します。
2. 図のようにカバー取付けネジを取外し、カバー、レンズ、レンズカバー、インジケータを取外します。



3. 図のようにプーリーを回してケーブルを取外します。
4. プーリーを時計方向に回して新しいケーブルの先端部を図の位置に入れ、ケーブルをセットします。

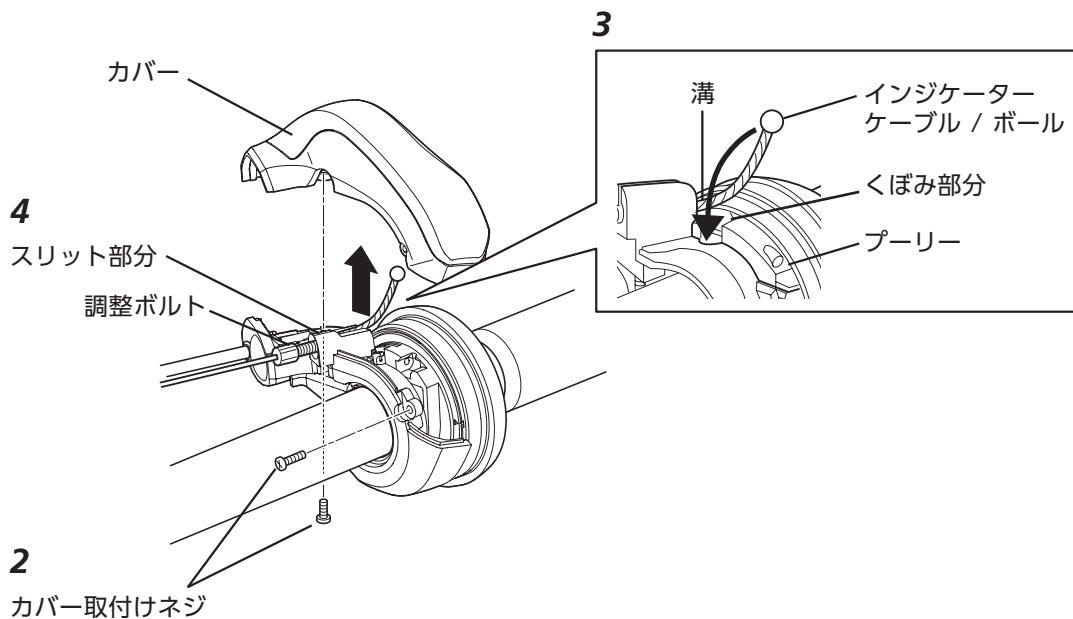


5. インジケーター、レンズカバー、レンズ、カバーの順に取付けます。



シフター側

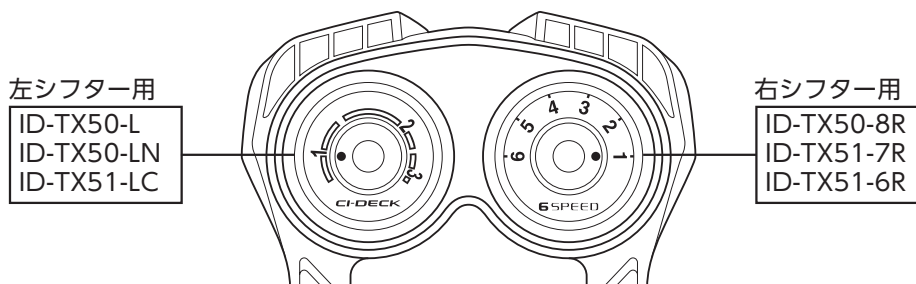
1. 右のシフターをトップ位置にセットしてください。
2. カバー取付けネジを緩め、カバーを取外します。
 - 無理やりカバーを外しますと、カバーと本体を結合しているフックが破損しますので、慎重に行ってください。
3. カバーを取外すと、プーリーが見えるので、インジケータークーブルのボール部分をくぼみ部分に引っ掛けた後、ワイヤーを溝に沿わせます。
4. その後、スリット部分にインジケータークーブルを通し、調整ボルトをねじ込みながらインジケーターと数字が合うように調整してください。



* カバー取付け方法はモデルによって異なりますので、
レボシフト
REVOSHIFTのディーラーマニュアルを参照してください。

■ レンズカバー（段数表示板）の交換〈補修用〉

カバー取付けネジを取外して、ご使用になっている自転車のギアと同じレンズカバーに入換えてください。
(ギアポジションインジケーターのインナーケーブル交換方法「CI-DECK側」ステップ2を参照。)





製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577